

在宅ケア・在宅療養支援に関する研究 －携帯型小型喀痰吸引器の開発－



長岡 真希子

准教授 博士（看護学）

Makiko Nagaoka

大学院医学系研究科 保健学専攻
看護学講座地域看護学分野

研究キーワード

地域保健, 在宅看護, 在宅ケア, 退院支援, 介護保険, 保健・医療・福祉の連携

研究概要

私は、人々が住み慣れた地域でその人らしく健やかに暮らすために、少しでもお役に立てる研究をしたいと考えています。その一つとして、今回携帯型小型喀痰吸引器の開発に取り組みました。何らかの障がいや痰の吸引ケアを必要とする方々の多くは、日常生活や外出においていつでもどこでも、吸引器による痰の吸引が必要です。そこで、外出先でも安全に手軽に使用でき、既存吸引器と同等の吸引圧で、より安価で小型軽量化した吸引器が開発できないかと考え、県内企業の皆様と共同で研究に取り組みました。その結果、既存吸引器と同等の機能を持たせつつ、総重量を -18.3% ～ -29.3% 軽量化した試作品を作成することができました。Nagaoka M, et al(2020) Construction of a prototype for the development of compact electric medical suction equipment: Bulletin of Graduate School of Health Sciences Akita University, 28 (2), 105 - 112

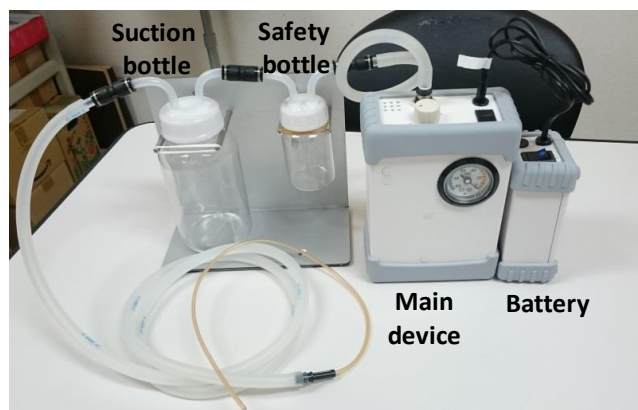


Figure Complete prototype apparatus



Bellidine
multifunctional

SKIP HOP
diaper bag

Figure Placement of the storage bag

予想される応用例

更なる改良, デザイン性の改善による, ニーズの拡大。在宅ケアの現場実証を通じた介護ニーズの把握や他部門への応用。

産業界へのアピールポイント

在宅ケアに必要な機器の開発だけでなく、在宅療養支援や地域包括ケアの充実等、地域の方々・専門職・行政・企業と協働で様々な取り組みができればと考えています。

大学院医学系研究科保健学専攻看護学講座地域看護学分野

研究室ホームページ：[http://www.med.akita-](http://www.med.akita-u.ac.jp/hoken/health_sciences/nursing/class/tiikisekatusien.php)

[u.ac.jp/hoken/health_sciences/nursing/class/tiikisekatusien.php](http://www.med.akita-u.ac.jp/hoken/health_sciences/nursing/class/tiikisekatusien.php)

※お問い合わせは秋田大学 産学連携推進機構まで



秋田大学
Akita University